

# 安心して暮らし続けられる 環境づくりを

移住・定住促進について

移住希望者への情報提供は、どのようにしているのか。

企画財務部長 市ホームページでの移住者向けサイト「NEW LOCAL 結城」や「移住ガイドブック」、各種SNSを活用するほか、毎年、東京で開催される移住・交流関係のイベントに出展する等、市外に積極的に情報発信を行っている。

空き家バンクについて。

都市建設部長 行政が取り扱うことで、売却・利用希望者の双方が一定の安心感をもって利用できることが期待される。

一方で、耐震性や劣化状況によっては登録できない場合があり、登録に向け、所有者が調査費用や高額な改修費用を負担しなければならぬこともあるなど、課題もある。

実績のある近隣自治体を参考にし、茨城県宅地建物取引業協会との協議を進めながら、引き続き慎重に検討していく。

健康診査の受診について

女性のがん検診受診率向上に向けた取組について。

保健福祉部長 乳がんや子宮頸がんといった女性特有のがんは、若い世代から発症するため、働き世代や子育て世代の受診率向上が重要である。

そのため、インターネット予約期間の拡大、休日の集団健診や託児サービス付き検診を実施しているほか、個別検診として、市外の産婦人科クリニックでも受診できるよう検診場所を拡充し、受診しやすい環境づくりに努めている。

皆さまにとって  
良い年になりますように



関 晴美  
(せき はるみ)



録画映像  
はこちら

ているのか。

保健福祉部長 人間ドックは、詳細な健康状態を把握することができる反面、検査費用が特定健康診査より高額である。

助成に係る費用、得られる効果、受益者負担の適正さ等を見極めながら、特定健康診査の受診率向上のための施策の一つとして、今後、慎重に検討していく。

